

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号
C-7-1
共同利用施設復興整備事業
事業費
総額 1,096,150,786 円
事業期間
平成24年度～平成27年度
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）
東北地方太平洋沖地震の津波により甚大な被害を受けた水産業の復興に向け、水産業共同利用施設及び水産加工流通施設を整備する。
事業結果
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 ①水産加工処理施設（市町村施設分）整備に係る設計監理業務、建築工事（白井、黒崎2施設） ②民間を通じた水産加工処理施設整備に係る補助金の交付（4団体、4施設） <p>（工事概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①白井地区共同利用施設：木造平屋建 31.46㎡ 黒崎地区共同利用施設：木造平屋建 66.24㎡ ②株式会社越戸商店による水産加工処理施設整備：鉄骨造1部2階建 3158.93㎡ 株式会社三陸水産による水産加工処理施設整備：鉄骨造平屋建 852.17㎡ 株式会社双葉商店による水産加工処理施設整備：鉄骨2階建 113.95㎡ 有限会社カネシメ水産による水産加工処理施設整備：ボイル施設 一式 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 ①水産加工処理施設（市町村施設分）設計監理業務委託、建築工事（ネダリ浜） ※工事完成は平成26年度 ②民間を通じた水産加工処理施設整備に係る補助金の交付（2団体、2施設） <p>（工事概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①黒崎（ネダリ浜）地区共同利用施設：木造平屋建 63.76㎡、 ②株式会社越戸商店による水産加工処理施設整備：鉄骨造平屋建 215.30㎡ 有限会社カネシメ水産による水産加工処理施設整備：木造平屋建 142.50㎡ <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 ①水産加工処理施設（市町村施設分）設計監理業務委託、建築工事（普代、太田名部2施設） ※工事完成は平成27年度 <p>（工事概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①普代地区共同利用施設：木造平屋建 62.10㎡ 太田名部地区共同利用施設：木造平屋建 67.90㎡
事業の実績に関する評価
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>東北地方太平洋沖地震の津波により甚大な被害を受けた水産業の再興が急務であり、生産から加工流通までが一体となって取り組み、雇用の場を確保・創出し、地域経済の活性化が図られた。</p> <p>また、水産業の要となる水産加工流通施設について、村の復興計画に基づき民間団体による整備を推進したことで、太田名部魚市場の水揚げ増加と漁業者の所得向上及び地域経済の活性化につながった。</p>

【参考指標】

人口一人当たりの村民所得

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1,923,000	2,045,000	2,483,000	2,818,000	2,757,000	2,884,000

※平成26年度岩手県市町村民経済計算年報より抜粋

- この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

「普代村水産加工流通業復興計画」に掲げた所期の目的は達成できたものとする。

【普代村水産加工流通業復興計画に掲げた目標値】

5年後（平成27年度）に、太田名部魚市場の水揚げ高を、平成22年度の1.15倍とする。

（平成28年3月31日現在の状況）

太田名部魚市場の水揚げ高

（単位：t）

年度区分		H22年度 （実績）	H23年度 （実績）	H24年度 （実績）	H25年度 （実績）	H26年度 （実績）	H27年度 （実績）
養殖若布	水揚量	1,995.0	891.1	1,952.9	2,750.7	2,157.3	3,629.7
	率	100.0%	44.7%	97.9%	137.9%	108.1%	181.9%
養殖昆布	水揚量	2,598.0	0.0	1,547.1	1,838.2	1,428.7	1,125.8
	率	100.0%	0.0%	59.5%	70.8%	55.0%	43.3%
うに	水揚量	2.6	0.8	0.9	1.4	1.4	1.9
	率	100.0%	30.8%	34.6%	53.8%	53.8%	73.1%
鮑	水揚量	7.6	6.6	2.8	9.9	9.5	8.1
	率	100.0%	86.8%	36.8%	130.3%	125.0%	106.6%
鮮魚	水揚量	3,171.5	4,352.6	3,008.2	3,755.8	7,379.1	5,517.1
	率	100.0%	137.2%	94.9%	118.4%	232.7%	174.0%
その他	水揚量	78.7	19.7	48.1	49.8	33.2	61.5
	率	100.0%	25.0%	61.1%	63.3%	42.2%	78.1%
合計	水揚量	7,853.4	5,270.8	6,560.0	8,405.8	11,009.2	10,344.1
	率	100.0%	67.1%	83.5%	107.0%	140.2%	131.7%

② コストに関する調査・分析・評価

共同利用施設整備費を116,215千円で見込んでいたが、事業実施前に内容を精査し、経済性及び施工性の容易性等を比較検討し事業費縮減に努め、最終事業費が70,238千円となり、45,977千円減額することができた。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・民間を通じた水産加工処理施設整備（平成24年度）

	想定事業期間	実際の事業期間
公募期間	H24.3.15 ～ H24.4.15	H24.4.13 ～ H24.4.24
事業期間	H24.4.15 ～ H25.3.31	H24.5.25 ～ H25.7.31

・民間を通じた水産加工処理施設整備（平成25年度）

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
公募期間	H25.5.1 ～ H25.6.30	H25.5.10 ～ H25.5.24
事業期間	H25.7.1 ～ H26.2.28	H25.6.27 ～ H26.3.17

・共同利用施設復興整備事業（5施設）

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
設計監理業務委託	H24.4.15 ～ H24.7.15	H24.7.9 ～ H27.6.10
建設工事	H24.7.15 ～ H25.3.31	H24.8.17 ～ H27.5.29

水産加工処理施設整備事業については、概ね予定どおり事業を進めることができた。

共同利用施設復興整備事業5施設のうち2施設は、予定どおり工事を完了することができた。残り3施設については、建設予定地（建設する地区は決まっていたが、実際に建てる場所）が決まっていなかったことから、建設場所の選定に時間を要し、予定期間を大きく超過する結果となった。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）

【白井地区共同利用施設】



【黒崎地区共同利用施設】



【黒崎（ネダリ浜）地区共同利用施設】



【普代地区共同利用施設】



【太田名部地区共同利用施設】



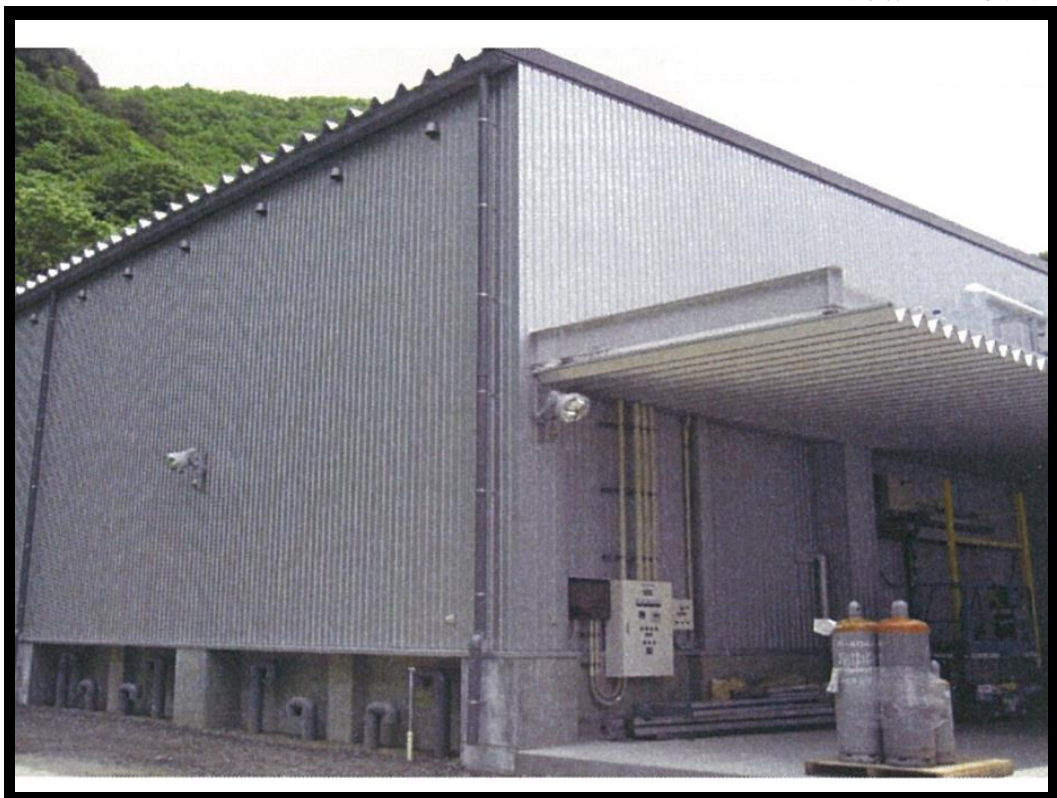
【株式会社越戸商店:水産加工処理施設】

〈平成24年度〉



〈平成25年度〉





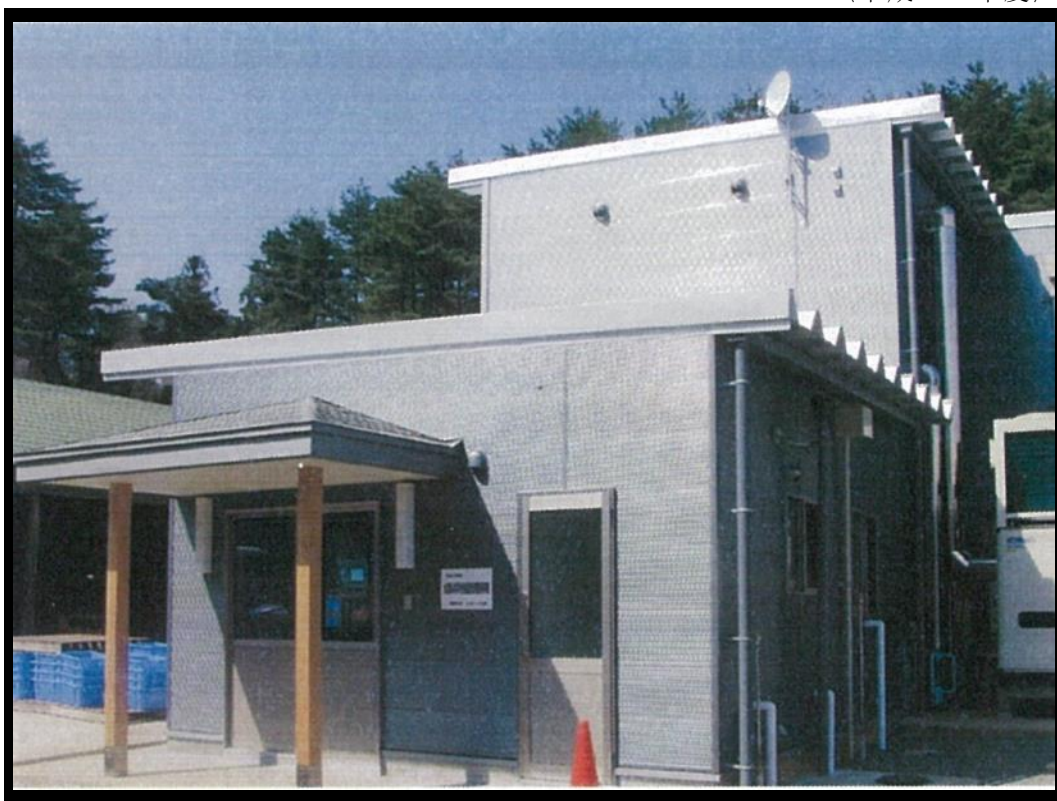


【有限会社カネシメ水産:水産加工処理施設】

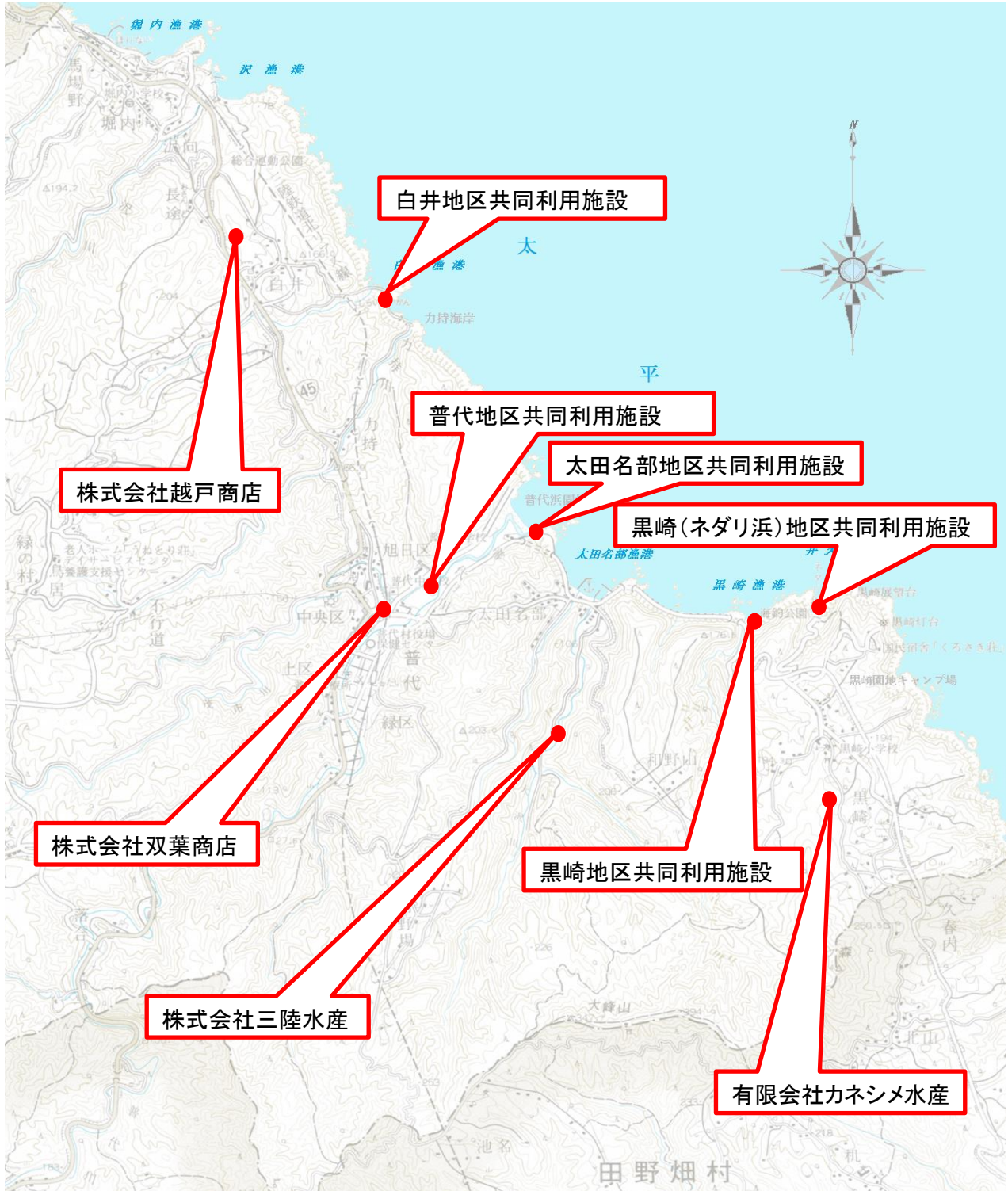
〈平成24年度〉



〈平成25年度〉



【施設の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号				
◆C-7-1-1				
事業名				
海産物等販路拡大・販売促進事業				
事業費				
総額	30,389,068円			
	事業費	交付対象事業費	内交付金分	内村単独分
	30,389,068	29,389,068	23,510,000	6,879,068
事業期間				
平成24年度～平成25年度				
事業目的・事業地区				
<p>東北地方太平洋沖地震の津波により、壊滅的な被害を受けた漁業従事者の一刻も早い生業再建や復興のため、漁家収入の安定化に直接影響をあたえる主要生産品であるコンブ、ワカメ類の取扱高を増加させ、水産業の活性化を図る。</p> <p>また、安定した生産・販売を確保するため、村外の多くの人たちや観光客との交流を図るとともに、村の特産品（海産物）のPR活動、企業訪問等を積極的に行い、販路の拡大や販売促進に努めることを目的とする。</p>				
事業結果				
【平成24年度】				
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもまつり開催事業（5月5日開催 来場者数1,000人） ・イーハトーブトライアル大会事業（8月25日開催） ・観光インフォメーション事業（通年） ・普代浜ビーチバレーボール大会（8月5日開催 参加チーム数25チーム） ・ふだいまつり開催事業（9月7日～9日まで開催） ・海フェスタinふだい（10月7日開催 来場者数5,500人） ・普代フェア（11月9日～23日まで開催 盛岡市周辺の産直施設、飲食店を会場に特産品、加工品等の販売及び普代産の食材を使った料理を提供するフェアを開催） ・観光物産事業（東京、秋田、盛岡、滝沢、矢巾、二戸にて海産物等の直売を行う物産展を開催） ・ふだいまるごと元気市（7月1日開催 来場者数1,500人） 				
【平成25年度】				
<ul style="list-style-type: none"> ・観光インフォメーション事業（通年） ・ふだいまつり開催事業（9月6日～8日まで開催） ・海フェスタinふだい（10月6日開催 来場者数5,000人） ・普代フェア（11月8日～24日まで開催 盛岡市周辺の産直施設、飲食店を会場に特産品、加工品等の販売及び普代産の食材を使った料理を提供するフェアを開催） ・観光物産事業（東京、群馬、仙台、秋田、盛岡、滝沢、矢巾、二戸にて海産物等の直売を行う物産展を開催） 				
事業の実績に関する評価				
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。				
<p>効果促進事業（海産物等販路拡大・販売促進事業）を実施することにより、村内外の多くの人に本村の水産物をPRすることができた。基幹事業で整備した水産加工業者も各イベント等に参加しており、販路拡大や販売促進にも大きく繋がったと考えられる。また、復興イベントの開催により観光客の誘客も図ることができ、地域経済の活性化にも繋げることができた。特にも、海フェスタ・ふだいまつりは過去最高の集客があり、村外の観光客に対して村の水産物</p>				

をPRできた。

【海フェスタ・ふだいまつり来場者数】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
海フェスタ	3,000 人	震災により中止	5,500 人	5,000 人	4,500 人
ふだいまつり	4,000 人	2,500 人	5,000 人	5,000 人	4,000 人

○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

震災以降課題となっていた漁業従事者の生業については、基幹事業で整備した水産加工業者の施設によりワカメ・コンブの取扱高が増加し、漁家収入の安定化にも繋がっていくと考えられる。しかし、取扱高が上がっても販売とは結びつかないというのが現実であり、このサイクルを確固たるものにすることが、水産業の復興への重要な取り組みと考えられる。このことから、今まで以上に地元水産物のPRをし、新たな販路を拡大するための事業を継続実施していく必要があると考える。

② コストに関する調査・分析・評価

当該事業費は当初の事業計画に計上した予算内で実施しており、事業費は妥当な規模であると考えられる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・平成24年度

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
事業期間	H24.4.1 ~ H25.3.31	H24.4.1 ~ H25.3.29

・平成25年度

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
事業期間	H25.4.1 ~ H26.2.28	H25.4.1 ~ H26.3.31

概ね予定どおり事業を進めることができた。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114 (内線142)

【平成25年度普代フェアの様子】



【平成25年度海フェスタの様子】



【平成25年度ふだいまつりの様子】



「ふだいの昆布で村おこし!」プロジェクト

好評 第4弾! **普代フェア in 盛岡**

平成24年 **11月9日(金)~23日(金)** 【主催】普代村

普代村の特産品が当たる!
スタンプラリー 同時開催

市内12店舗同時開催!

- ヌッフ デュ パブ 盛岡市大通2-4-22 サンライスタウン4F
- きのえね支店 盛岡市本町通1-17-6
- 居酒屋 ねまる 盛岡市菜園1-12-25 2F
- ビアレストラン アリーブ 盛岡市大通3-3-18 ホテル東日本B1F
- スパニッシュ ライツ 盛岡市菜園1-3-6 農林会館B1F
- 賢治の大地館 盛岡市大通3-4-1 クロステラス盛岡1F
- 海鮮料理/天ぷら 浜や 盛岡市中ノ橋通1-12-10
- 匠の(たくみの) 盛岡市大通1-11-4 1F
- ビアバー ペアレン 中ノ橋 盛岡市中ノ橋通1-1-21 ホテルブライトイン盛岡1F
- セカンドダイニング ジャーラン 盛岡市盛岡駅前通9-3 ジャーランビル4F
- 手作り味工房 彩彩 盛岡市肴町6-10 ホットライン肴町アーケード内
- 姫神の郷産直館 恵一握 盛岡市玉山区浪民字鶴岡20-1 イオンスーパーセンター盛岡浪民店内

お問い合わせ:普代村農林商工課 TEL0194-35-2115

「ふだいの昆布で村おこし!」プロジェクト

好評 第5弾! **普代フェア in 盛岡**

平成25年 **11月8日(金)~24日(日)** 【主催】普代村

普代村の特産品が当たる!
スタンプラリー 同時開催

市内17店舗同時開催!

- ヌッフ デュ パブ 盛岡市大通2-4-22 サンライスタウン 4F
- 海鮮料理/天ぷら 浜や 盛岡市中ノ橋通1-12-10
- きのえね支店 盛岡市本町通1-17-6
- 匠の(たくみの) 盛岡市大通1-11-4 1F
- 居酒屋 ねまる 盛岡市菜園1-12-25 2F
- ビアバー ペアレン 中ノ橋 盛岡市中ノ橋通1-1-21 ホテルブライトイン盛岡 1F
- ビアレストラン アリーブ 盛岡市大通3-3-18 ホテル東日本 B1F
- セカンドダイニング ジャーラン 盛岡市盛岡駅前通9-3 ジャーランビル 4F
- スパニッシュ ライツ 盛岡市菜園1-3-6 農林会館 B1F
- ビアババ ペアレン 材木町 盛岡市材木町7-31
- ダコッタ 盛岡市菜園2-3-22 プラザバンパールビル 2F
- アル・フォルノ 盛岡市菜園2-4-6
- 賢治の大地館 盛岡市大通3-4-1 クロステラス盛岡 1F
- 姫神の郷産直館 恵一握 盛岡市玉山区浪民字鶴岡20-1 イオンスーパーセンター盛岡浪民店内
- 手作り味工房 彩彩 盛岡市肴町6-10 ホットライン肴町アーケード内
- Nanak 郷土銘産品コーナー 盛岡市中ノ橋通1-6-8 Nanak 1F
- サン・フレッシュ都南 盛岡市下飯岡21-180

東京都内1店舗同時開催!(11/18日~23日まで)

- ヌッフ デュ パブ 六本木 東京都港区六本木7-17-19 FLEG六本木Second 2F

お問い合わせ:普代村農林商工課 商工観光対策室 TEL0194-35-2115

普代村の特産品が当たる!
詳しくは普代パンフレットを
ご下下さい

福幸祈願 海フェスタinふだい

海上パレード 乗船!!

10:30
▼
11:15

【先着120名、参加料500円/人】

2012 10月7日(日)

普代村
太田名部漁港
午前 10:00~

会場

普代村 太田名部漁港 午前 10:00~

農林水産物が 新鮮で安い!!

海上遊覧

乗船料: 1人 500円
出航時間: 12:30~14:50
1回よそ20分コース
第二十一 朝光丸 乗船定員: 28名/1回

乗船料は実行委員会が負担しております。出航1日前までに受付も乗船料、お申し込みが必要となります。

ふだい荒磯太鼓

迫力満点

10:05

もちまき大会

ビッグな景品あり!

15:00

普代村 無形民俗文化財

よせいソーラン

10:35

活魚つかみどり大会

12:10
▼
13:00

もちきお振舞い(矢野)

11:45

中野流 鶴鳥七頭舞

11:15
▼
11:45

歌謡・舞踊・演歌の競演

13:00
▼
14:45

会場案内図

主催/海フェスタinふだい実行委員会

主催団体/ 普代村、普代村漁業協同組合、普代村観光協会、村内定置網、漁師組合
 協賛団体/ 川原いわた普代支部、久郷地方森林組合、生業研究クラブ、ふだい荒磯太鼓の会、村内小甲中校、農真とりも会

「ふだいまるごと漁業まつり」は「海フェスタinふだい」に
 名称を譲り、今年からスタートいたします。

<イベント参加・お問い合わせ> TEL. 0144-99-0116
 実行委員会事務局 (普代村役場地蔵水産課)
<http://www.vill.fudai.wate.jp/>

福幸祈願 海フェスタinふだい

2013 10月6日(日) 普代村 太田名部漁港
午前10:00~

海上遊覧
乗船料：1人 500円
出航時間：12:00~14:30
1回約40分コース
乗船定員：28名/1回

第二十一 翔光丸
乗船料は事前予約金と別で取ります。出航の約2週間前までに予約をお願いします。

海上パレード 乗船!!
10:30
11:15
【先着120名、参加料500円/人】

ふだい荒磯太鼓
10:05
迫力満点

もちまき大会
15:00
ビッグな景品あり!

中野流 鶺鴒七頭舞
11:20
11:50
県指定無形民俗文化財

よさこいソーラン
10:35

活魚つかみどり大会
12:10
13:00

もちつきお振舞い(矢巾町)
11:50

沢田知可子コンサート & 三味線・民謡ショー
13:00
14:30

主催/海フェスタinふだい実行委員会

主催団体/普代村、普代村漁業協同組合、普代村観光協会、村内定置網、漁師組合
 協賛団体/JA新いわて普代支所、久慈地方森林組合、生活研究グループ、ふだい荒磯太鼓の会、
 村内小中学校、産直とりむせ 他

海フェスタinふだいはアサヒグループホールディングス株式会社の支援を受けて実施しています。
 <イベント情報・お問い合わせ> TEL. 0194-35-2116
<http://www.vill.fudai.iwate.jp/> 実行委員会事務局(普代村役場福祉水産課)

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号													
C-5-1													
事業名													
堀内、沢地区漁業集落防災機能強化事業													
事業費													
総額	84,001,600 円												
	事業費	交付対象事業費	内交付金分	内村単独分									
	84,001,600	84,000,000	63,000,000	21,001,600									
事業期間													
平成24年度～平成26年度													
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）													
東北地方太平洋沖地震の津波により被災した沢漁港、まついそ公園に避難路を整備し、地震・津波に対する防災機能強化を図ることを目的とする。													
事業結果													
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 現地調査 平成25年度 工事設計（沢地区） 平成26年度 工事設計（堀内地区） 設置工事（堀内、沢地区） （工事概要） 堀内地区避難階段 L=86.80m 沢地区避難階段 L=36.62m 沢地区避難路 L=135.9m													
事業の実績に関する評価													
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>当該事業により、当該事業及びこれとあわせて実施した効果促進事業（◆C-5-1-2（別途評価様式参照））により、避難対策施設として堀内・沢地区避難階段や避難路を整備したことで、沿岸地区の住民や観光客の避難安全性が確保できたと考えられる。</p> <p>【第1避難場所までの距離】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>整備後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堀内地区</td> <td>450 m</td> <td>200 m</td> </tr> <tr> <td>沢地区</td> <td>700 m</td> <td>170 m</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成26年度から毎年実施されており、地域住民の方が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 事業実施前に内容を精査し、経済性及び施工性の容易性等を比較検討し、事業費縮減に努めた。当該事業費は妥当な規模であると考えられる。</p>						整備前	整備後	堀内地区	450 m	200 m	沢地区	700 m	170 m
	整備前	整備後											
堀内地区	450 m	200 m											
沢地区	700 m	170 m											

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・ 沢地区避難階段整備工事

	想定事業期間	実際の事業期間
事業期間	H24.4.1 ~ H24.12.31	H26.1.27 ~ H26.7.31

・ 堀内地区避難階段整備工事

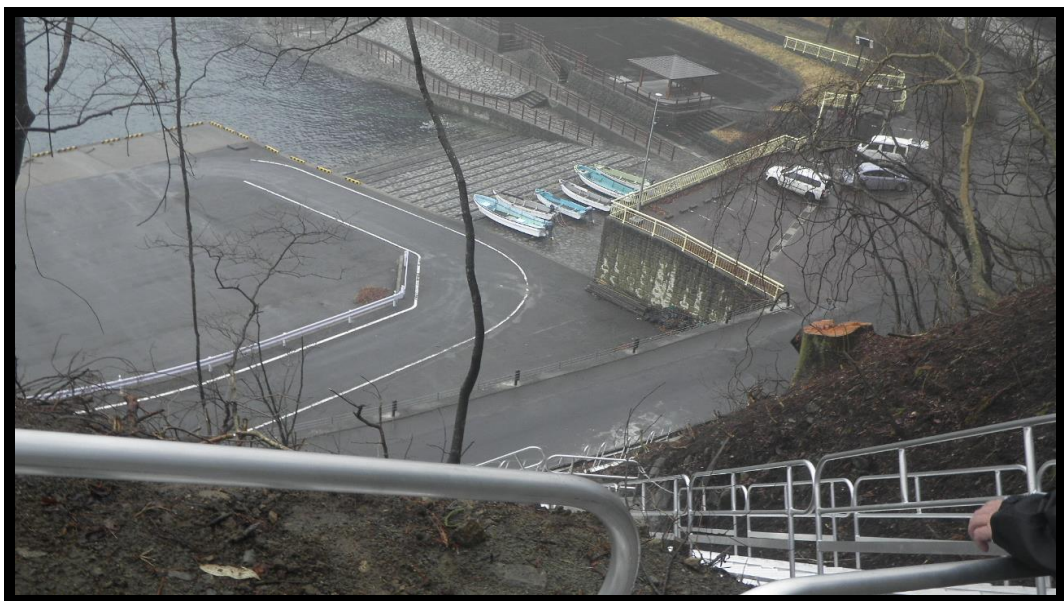
	想定事業期間	実際の事業期間
事業期間	H24.4.1 ~ H24.12.31	H26.4.16 ~ H27.3.18

計画変更（現地調査による線形（路線）の確定に伴う工事費の増）により、当初事業費では施工できなくなったため、所要の手続きに時間を要し事業開始時期が大幅に遅れる結果となった。

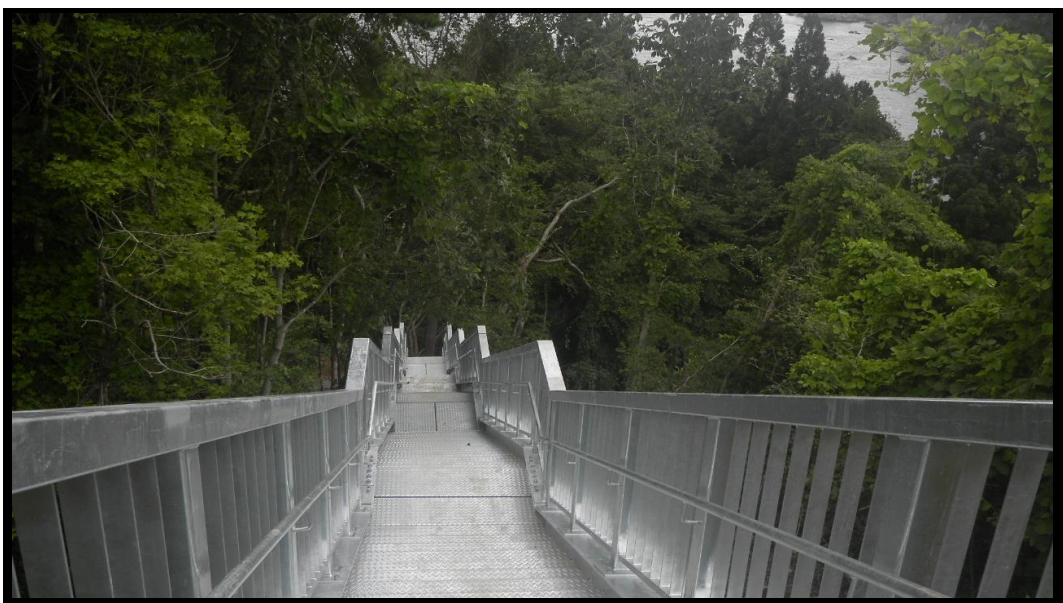
事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）

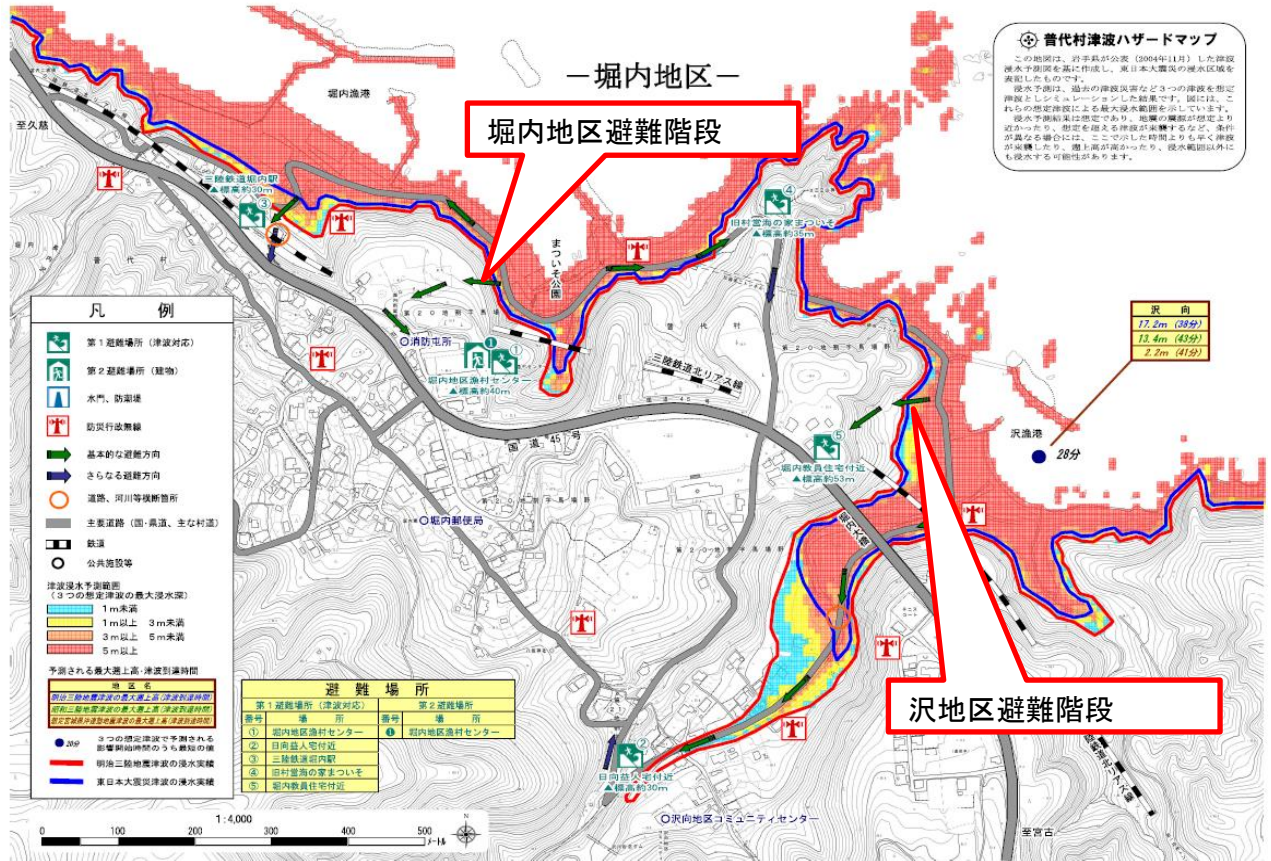
【堀内地区避難階段】



【沢地区避難階段】



【津波ハザードマップ】



【避難階段の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号			
C-6-1、C-6-2			
事業名			
漁港施設機能強化事業（C-6-1）、漁港施設機能強化事業（C-6-2 直接補助分）			
事業費			
総額 291,065,000 円 (内訳)			
事業番号	年度	事業費	備考
C-6-1	H24~H25	170,000,000	事業内容は同じものである。当初から2カ年で整備を予定していたもので、事業の早期着手が見込めることから、25年度事業分を村直接補助にしたものである。
C-6-2	H25	121,065,000	
事業期間			
平成24年度～平成25年度			
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）			
東北地方太平洋沖地震の津波により白井・沢漁港の防波堤が沈下し、防波堤の構造安定性が確保できない状況となった。このため消波ブロックを防波堤全面に設置し、施設の安定性を確保するものである。			
事業結果			
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 整備工事（沢、白井地区） ※完成は平成25年度 <ul style="list-style-type: none"> 沢漁港 北防波堤 L=55.1m 白井漁港 北沖防波堤 L=4.2m ・平成25年度 整備工事（沢、白井地区） (工事概要) <ul style="list-style-type: none"> 沢漁港 北防波堤 L=5.1m 白井漁港 北沖防波堤 L=15.58m 			
事業の実績に関する評価			
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>防波堤が沈下し、越波及び先端部分から巻き込んで入ってきた波により、時化の際には漁船を係留することが出来ず、また、船揚場へも波が来ることから漁船を置いておくことが出来ない状況であった。本事業により内港への波の進入が抑えられ、漁業者が漁船を避難させる労力についても軽減させることが出来た。（整備後の避難回数は、整備前の凡そ2/3となった。） しかし、冬季波浪時等に港内の静穏度が著しく減退した際には、近隣の堀内漁港に漁船を避難させる必要がある。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 海底地盤の沈下により増大した外力（風浪時等の来襲波高）に対し、施設の構造安全性を確保できたと評価される。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 静穏性に関する推計調査に基づき、消波ブロックの敷設計画を整えた。</p>			

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・ C-6-1

	想定事業期間	実際の事業期間
設計	H24.5.1 ~ H24.7.31	H24.6.15 ~ H24.11.22
整備工事	H24.8.1 ~ H25.2.28	H24.8.6 ~ H25.7.26

・ C-6-2

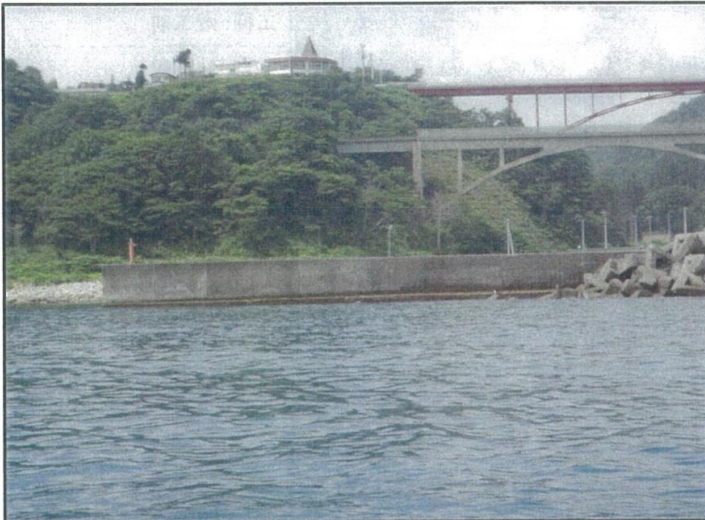
	想定事業期間	実際の事業期間
設計	H24.5.1 ~ H24.7.31	H24.6.15 ~ H24.11.22
整備工事	H25.4.1 ~ H26.2.28	H25.6.4 ~ H26.3.31

概ね予定どおり事業を進めることができた。

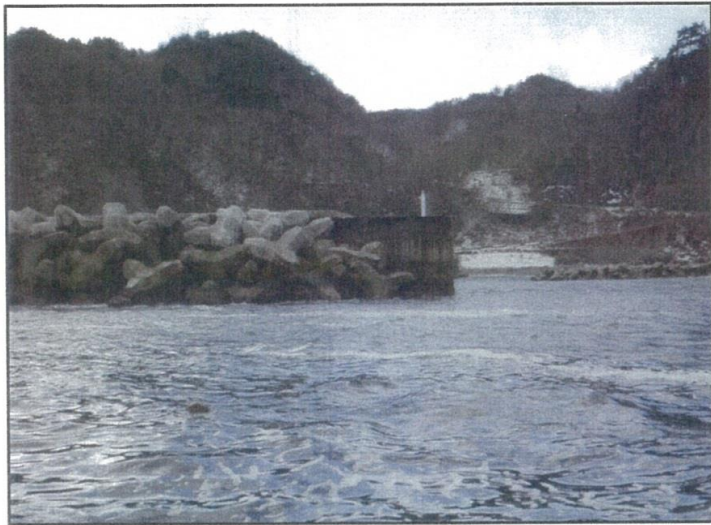
事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114 (内線142)

【沢漁港】

	<p>工種: 着工前</p> <p>測点: 沖 側</p> <p>着工前</p>
	<p>工種: 着工前</p> <p>測点: 沖 側</p> <p>着工前</p>
	<p>工種: 着工前</p> <p>測点: 終点側</p> <p>着工前</p>

【白井漁港】



工種: 着手前及び完成写真

測点: 沖側

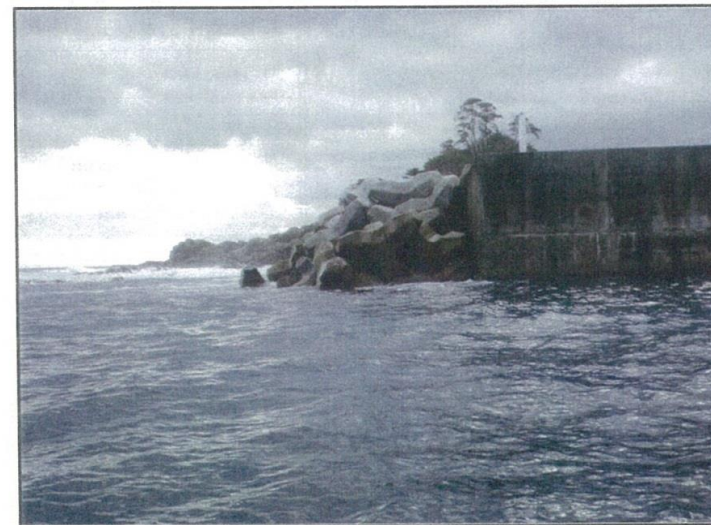
着工前



工種: 着手前及び完成写真

測点: 沖側

着工前



工種: 着手前及び完成写真

測点: 先端側

着工前



工種：着工前・完成

測点：外港側

完 成

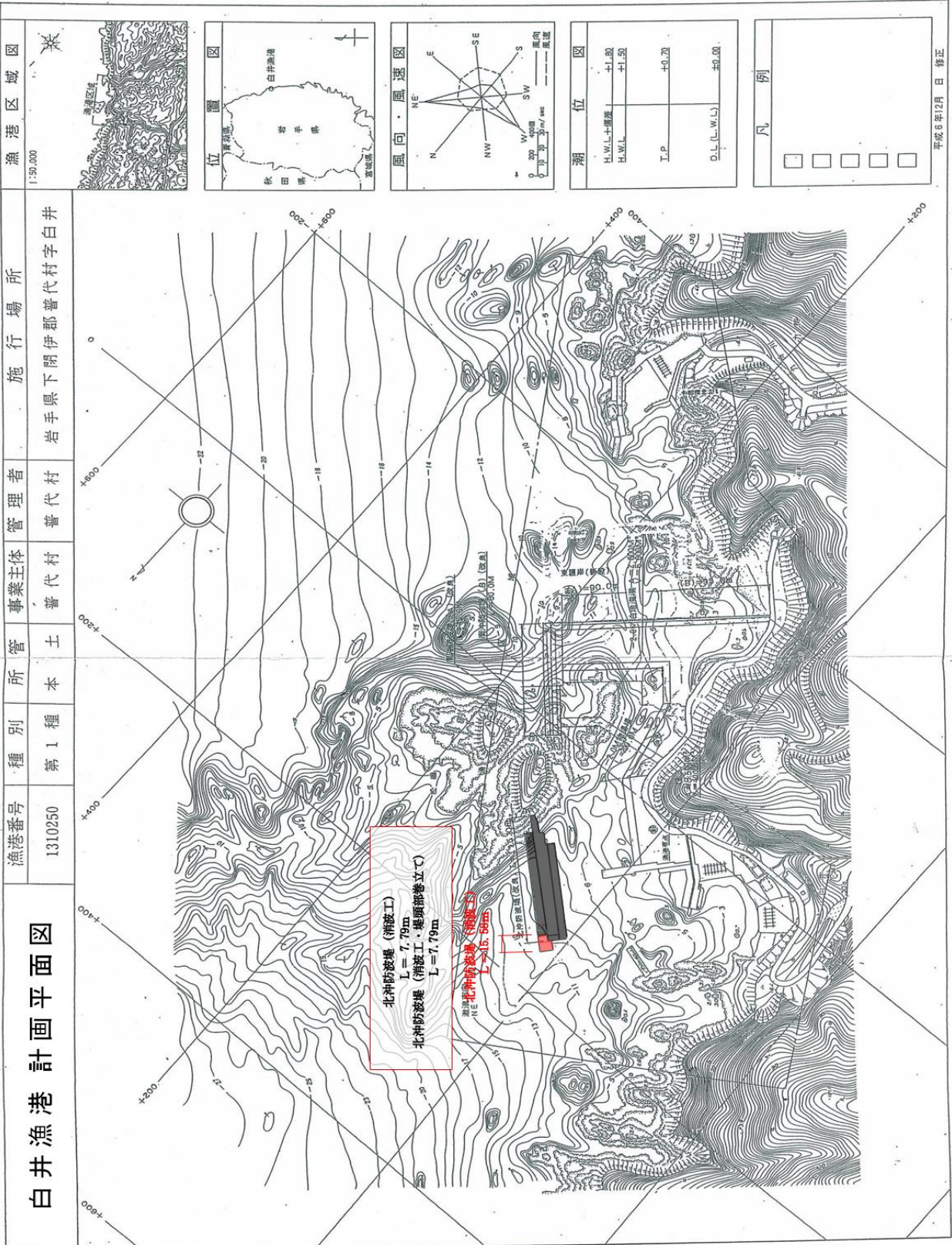


工種：着工前・完成

測点：外港側

完 成

白井漁港計画平面図



平成6年12月 日 修正

沢漁港計画平面図

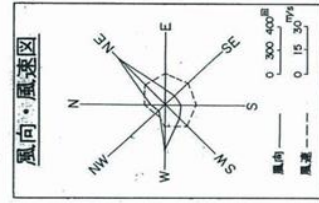
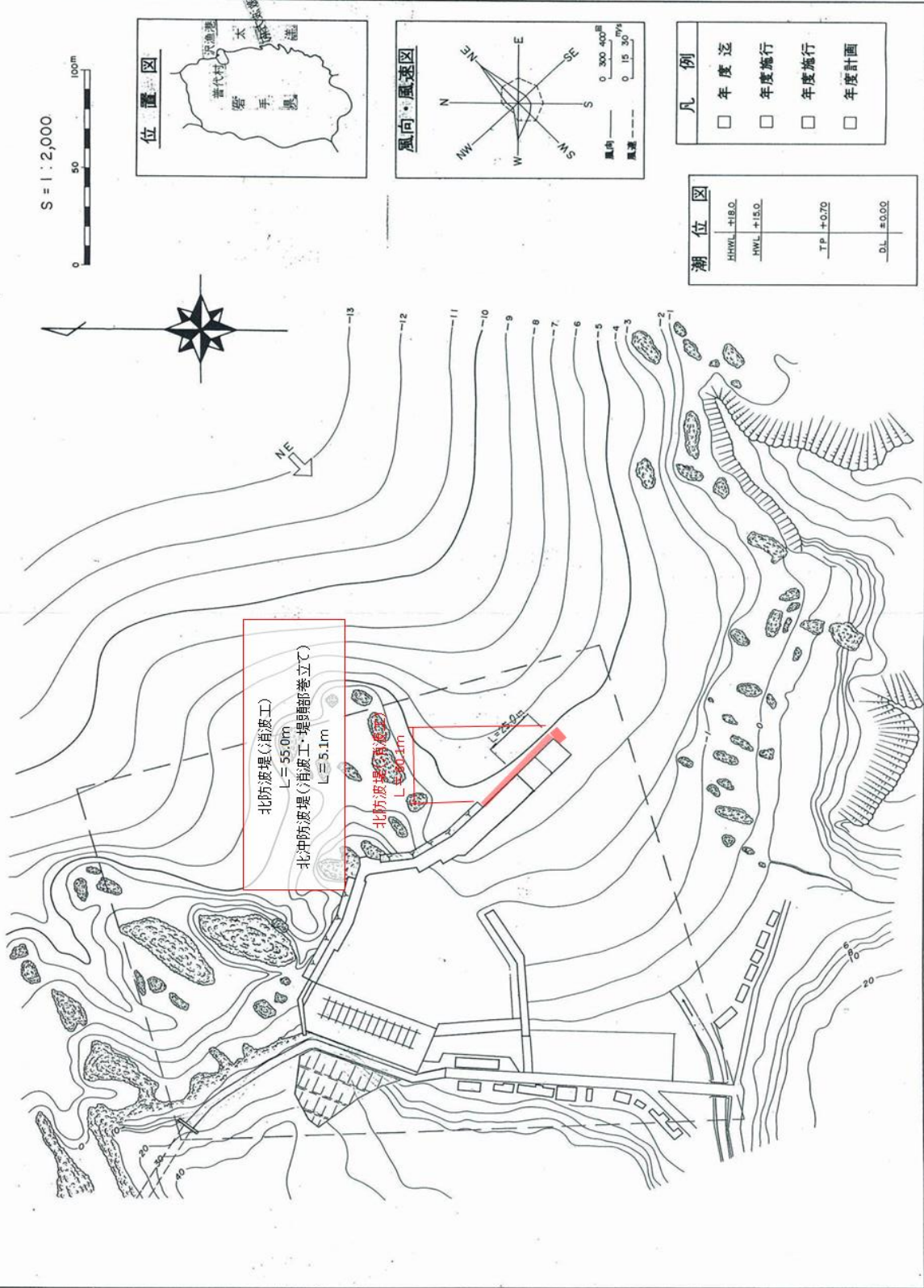
漁港種別
第1種

事業主体
普代村

施工年度

施行場所

岩手県下閉伊郡普代村馬場野



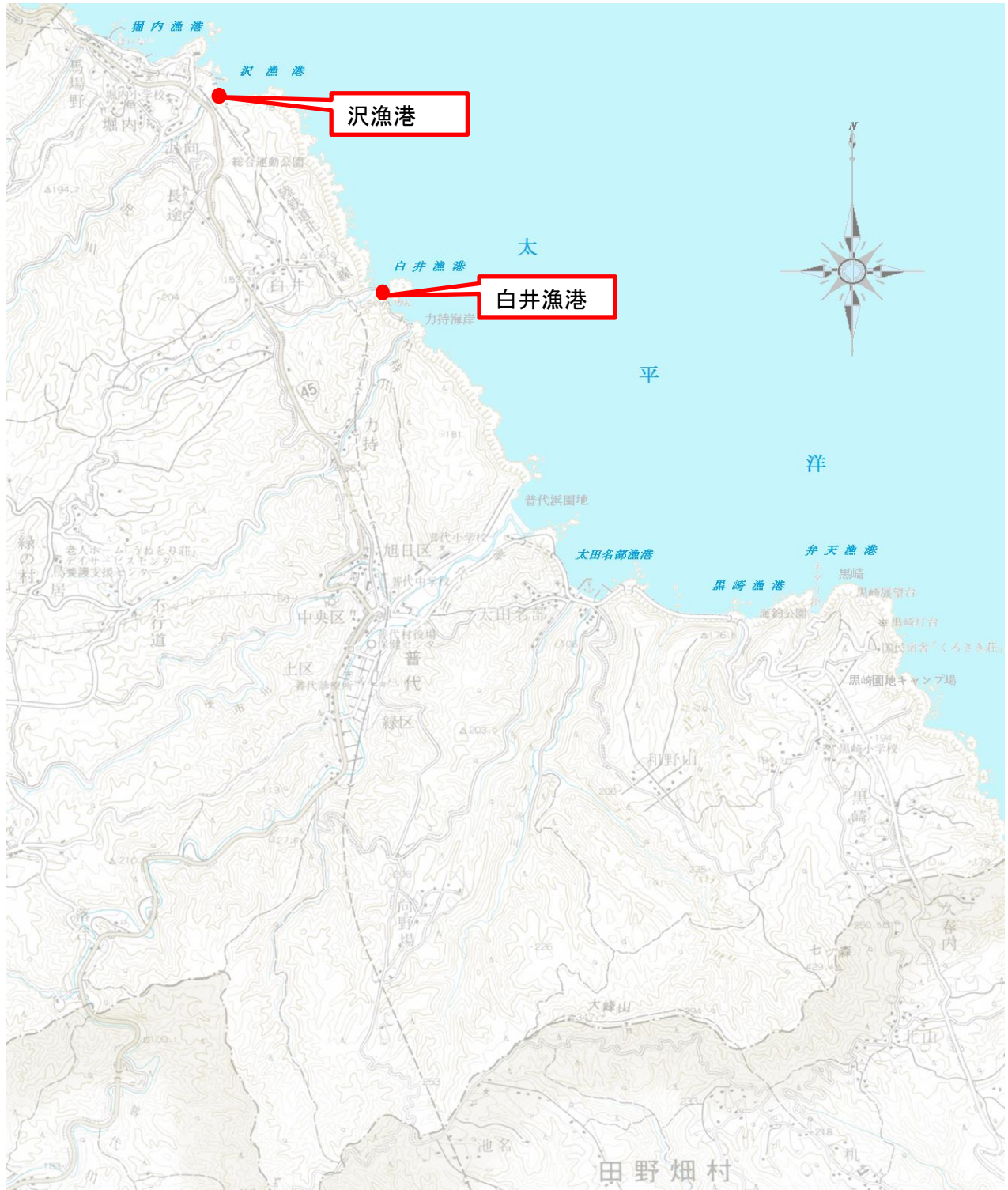
凡例

<input type="checkbox"/>	年度迄
<input type="checkbox"/>	年度施行
<input type="checkbox"/>	年度施行
<input type="checkbox"/>	年度計画

潮位図

HHWL	+18.0
HWL	+15.0
TP	+0.70
DL	=0.00

【漁港の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-1-1
事業名	漁港環境整備事業
事業費	<p>総額 79,219,365 円</p> <p>(内訳)</p> <p>設計費1,127,175円、工事監理費：819,000円、工事費77,273,190円</p>
事業期間	平成24年度～平成26年度
事業目的・事業地区 (別紙として地図を添付)	<p>東北地方太平洋沖地震の津波により壊滅的な被害を受けた堀内漁港（災害復旧事業により復旧）の区域内において、漁業活動の安全性の向上とともに、地域住民及び漁業者の憩いの場を創出し、地域水産業及び漁村の発展に資することを目的とし、便所や休憩所等を復旧するものである。</p>
事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度～25年度 設計（便所、休憩所） ・平成24年度～26年度 工事 （工事概要） <ul style="list-style-type: none"> (1) 防災施設：広場、駐車場1式 (2) その他施設：便所1棟、休憩所2棟 等
事業の実績に関する評価	<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>事業実施施設は津波により壊滅的な被害を受けており、地域水産業の復興に向け、快適で活気のある漁港環境を確保する整備が必要だった。</p> <p>本漁港は、漁業活動のための漁港としての利用だけではなく、地域住民及び漁業者の憩いの場としての多面的機能を有しており、漁港環境施設として、広場（面積1,503㎡）及び付属施設（トイレ、安全柵、休憩所）等が整備されることにより、漁業活動の安全性及び漁港環境の向上等が図られている。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>当該施設は、堀内漁港を利用する漁業者や周辺の住民に利用されているほか、イベント会場にも活用されるなど、多くの方に利用されている。（利用例：ベアレンビアフェスタ、平成29年6月25日（日）※平成25年以降毎年開催されているイベントであり、平成26年から本事業で整備したまついそ公園が会場、参加人数約300人）</p> <p>また、災害時には広場を多目的に利用可能であり、災害に強く安心して暮らせる地域社会に貢献するものである。</p> <p>なお、当施設の清掃管理等については普代村と管理委託を締結している。</p>

② コストに関する調査・分析・評価

岩手県会計規則等に基づき適正に工事の競争入札を実施していることや事業費積算においては土木工事標準積算基準書等の適切な算定根拠を用いていること等により、適正なコストと認められる。

【委託】

設計費：1,127,175円

工事監理費：819,000円

【工事】

工事費：77,273,190円

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
設計	H24 上 半 期	H24.7.3 ~ H25.7.12
整備工事	H24 下 半 期	H24.11.22 ~ H26.4.11

本事業は、平成24年度に事業着手し、同年度内に設計及び整備工事を完了する予定であったが、漁港本体の復旧工事等優先度が高い場所の復旧から実施したことにより、事業期間が延伸し、完了がH26年4月となったものである。

事業担当部局

岩手県農林水産部 漁港漁村課 電話番号：019-629-5828

【被災前】



【被災後】



【復旧後】



【地域イベントにおける活用の様子】

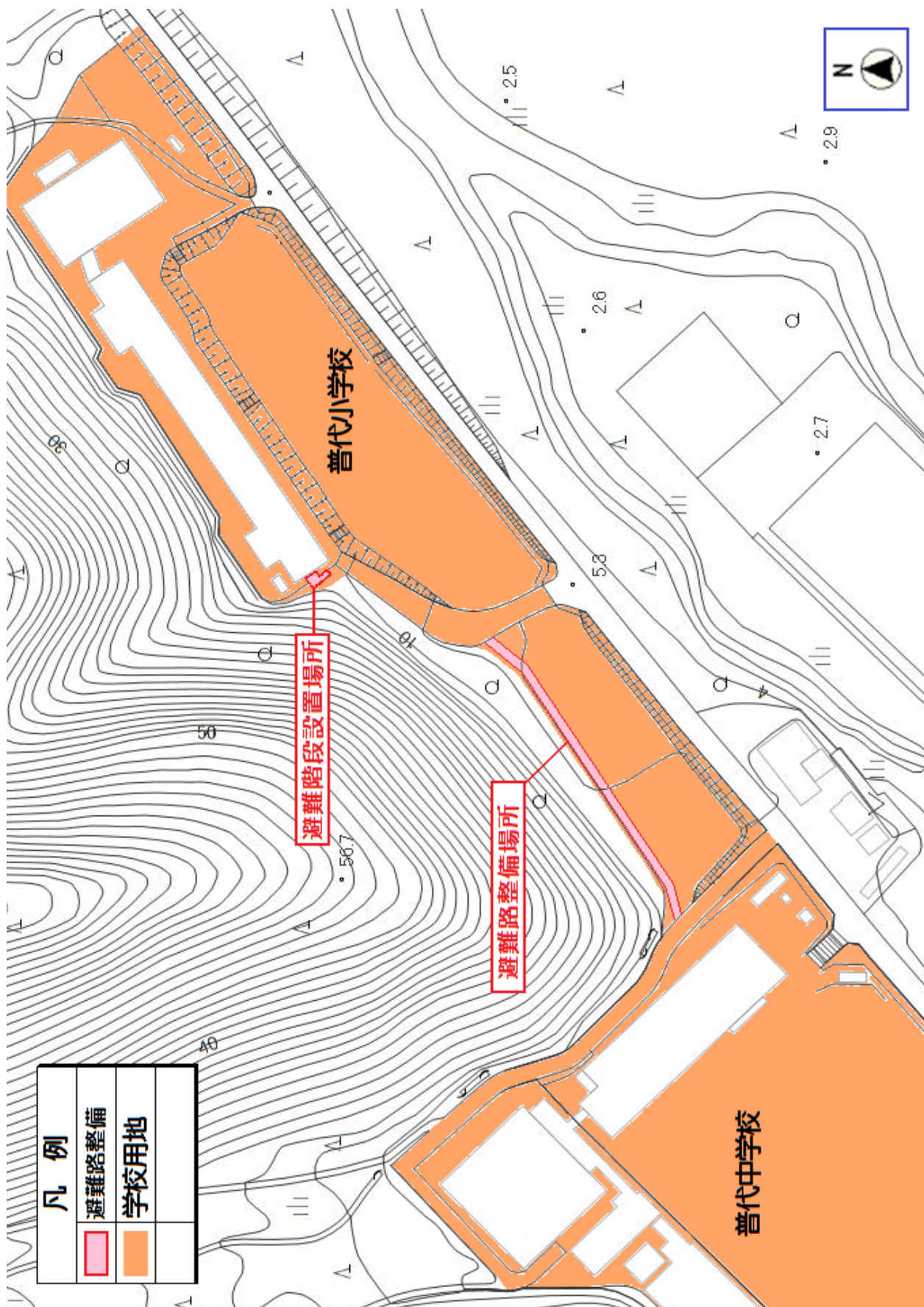


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号											
A-2-1											
事業名											
小学校の避難路整備事業											
事業費											
総額	6,039,600円										
事業期間											
平成24年度											
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）											
災害時に児童を安全且つ速やかに避難させるための避難階段の設置及び、一時避難所となっている普代中学校まで安全に避難することと普代小学校の孤立防止を目的とする避難路の整備を行うものである。											
事業結果											
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 設計監理業務委託、整備工事 （工事概要） 避難階段 L=6.2m 避難路整備 L=86.5m 											
事業の実績に関する評価											
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>東北地方太平洋沖地震の津波により普代小学校前の道路が冠水し、小学校が孤立したが、本事業により避難階段や避難路の整備が行われ小学校の孤立解消が図られた。また、普代水門海側の海水浴場からの避難路にもなると想定されることから、観光客の安全確保が期待される。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成25年度から毎年実施されており、学校防災教育の向上のために有益に活用されている。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 既存の小学校通路を一部利用し、避難路距離の短縮を行いコスト削減に努めた。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計監理業務</td> <td>H24.7.1 ~ H24.9.30</td> <td>H24.12.15 ~ H25.3.29</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.9.1 ~ H25.1.31</td> <td>H25.1.21 ~ H25.3.28</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地承諾に時間を要したため、設計・工事開始時期が遅れたが、事業年度内には完了することができた。</p> <p>また、整備区間の一部を村単独で事前に整備したことにより、工事期間を大幅に短縮できた。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	設計監理業務	H24.7.1 ~ H24.9.30	H24.12.15 ~ H25.3.29	整備工事	H24.9.1 ~ H25.1.31	H25.1.21 ~ H25.3.28
	想定事業期間	実際の事業期間									
設計監理業務	H24.7.1 ~ H24.9.30	H24.12.15 ~ H25.3.29									
整備工事	H24.9.1 ~ H25.1.31	H25.1.21 ~ H25.3.28									
事業担当部局											
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）											

【小学校から中学校への避難路】





【小学校の避難路の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号		
A-2-2		
事業名		
中学校防災備蓄倉庫整備事業		
事業費		
総額 4,987,500 円		
事業期間		
平成24年度		
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）		
<p>普代中学校は津波の一次避難所に指定されているものの、同中学校には災害用の備品を保管する場所がないため、新たに防災備蓄倉庫を整備し防災体制の充実を図ることを目的とする。</p>		
事業結果		
<p>・平成24年度 整備工事 （工事概要） 防災備蓄倉庫 2棟：アルミ製 L=400 W=240 H=232 単位：cm</p>		
事業の実績に関する評価		
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>防災備蓄倉庫を整備したことにより、一時避難所として最低限必要となる量の災害用備品が保管され、同中学校の防災体制の充実が図られた。</p>		
【災害用備品保管状況】		
品目	設置数量	備考
アルファ米	300 食	【必要数】 240人×2食分を想定
アルファ米（カレー）	100 食	
アルファ米（五目）	100 食	
水（500ml）	240 本	
水（2ℓ）	150 本	
ビスケット（75g）	96 缶	
携帯ラジオ	1 個	
メガホン拡声器	1 個	
発電機	1 台	
カセットボンベ	52 本	
エンジンオイル	2 本	
ドラムコンセント	1 個	
乾電池（単1）	24 本	
乾電池（単2）	24 本	
乾電池（単3）	40 本	
乾電池（単4）	40 本	
断熱マット	100 枚	
懐中電灯	10 個	
ブルーシート	20 枚	
ランタン	4 個	
○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。		

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際には活用された例はないが、防災訓練等の際に、備蓄品目・備品数及び調達に係る検証を行っており、学校防災教育の向上のために有益に活用されている。

② コストに関する調査・分析・評価

防災倉庫整備費を11,025千円で見込んでいたが、基礎工法を簡易なものにしたことにより最終事業費が4,988千円となり、6,037千円減額することができた。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
整備工事	H24.9.1 ~ H25.1.31	H25.2.8 ~ H25.3.30

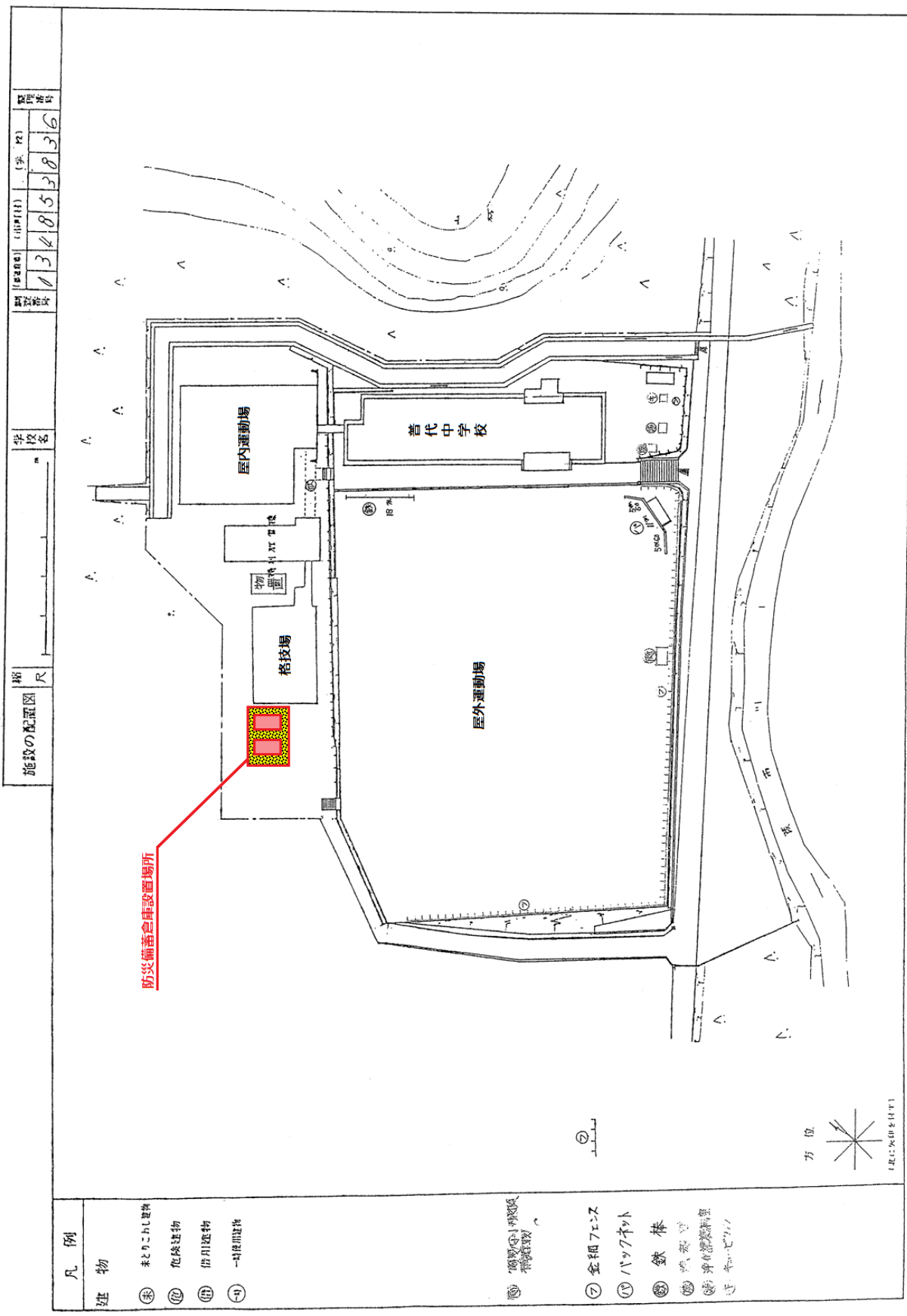
村教育委員会と協議し、学校の春休み期間に設置してほしいとの要望があり、工期の時期時期を変更したが、事業年度内には完了することができた。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114 (内線142)

【中学校防災備蓄倉庫】





施設名	普代中学校
所在地	〒348-5383 茨城県水戸市
図面番号	34853836
図面名称	防火備蓄倉庫設置場所

- 凡例**
- 建物
 - 未とりこらし建築
 - 危険建築物
 - 借用建物
 - 一時借用建物
 - 防火備蓄倉庫設置場所
 - 全額フェンス
 - バックネット
 - 鉄棒
 - 汽器等
 - 車庫
 - 遊具

5mm方眼

【中学校防災倉庫の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号																	
◆A-2-1-1																	
事業名																	
小学校から中学校への避難路整備及び屋外運動場嵩上げ事業																	
事業費																	
総額	51,522,450円																
事業期間																	
平成24年度																	
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）																	
災害時に孤立する恐れのある普代小学校から一時避難所となっている普代中学校に児童を安全に避難させるための避難路を整備するとともに、避難の際の集合・点呼時や体育の授業時等においても児童の安全を確保することを目的とし、浸水想定区域に含まれている屋外運動場の嵩上げを行うものである。																	
事業結果																	
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 設計業務委託、整備工事 （工事概要） 盛土工 8,200m³ 																	
事業の実績に関する評価																	
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>避難階段等により避難した児童の集合・点呼等を安全な場所で行い、一人も見落とすことなく全ての児童を安全に避難させるための確認作業に資するとともに、村唯一の小学校であるため、災害時においても速やかに学校活動を再開できるようになることが期待される。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に活用された例はないが、防災訓練等の際に、屋外運動場を活用した訓練が、平成25年度から毎年数回実施されており、学校防災教育の向上のために有益に活用されている。</p> <p>【津波避難訓練実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年5月23日（木）</td> <td>小学校津波避難訓練</td> </tr> <tr> <td>平成25年9月1日（日）</td> <td>総合防災訓練</td> </tr> <tr> <td>平成26年4月21日（月）</td> <td>小・中合同津波避難訓練</td> </tr> <tr> <td>平成26年9月28日（日）</td> <td>村津波避難訓練</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月22日（水）</td> <td>小・中合同津波避難訓練</td> </tr> <tr> <td>平成27年9月27日（日）</td> <td>総合防災訓練</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月20日（月）</td> <td>小・中合同津波避難訓練</td> </tr> </tbody> </table> <p>② コストに関する調査・分析・評価 盛土資材に三陸沿岸道路工事の残土を使用し、コスト削減に努めた。</p>		実施日	名称	平成25年5月23日（木）	小学校津波避難訓練	平成25年9月1日（日）	総合防災訓練	平成26年4月21日（月）	小・中合同津波避難訓練	平成26年9月28日（日）	村津波避難訓練	平成27年4月22日（水）	小・中合同津波避難訓練	平成27年9月27日（日）	総合防災訓練	平成28年4月20日（月）	小・中合同津波避難訓練
実施日	名称																
平成25年5月23日（木）	小学校津波避難訓練																
平成25年9月1日（日）	総合防災訓練																
平成26年4月21日（月）	小・中合同津波避難訓練																
平成26年9月28日（日）	村津波避難訓練																
平成27年4月22日（水）	小・中合同津波避難訓練																
平成27年9月27日（日）	総合防災訓練																
平成28年4月20日（月）	小・中合同津波避難訓練																

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
設計業務	H24.7.1 ~ H24.9.30	H24.8.1 ~ H24.9.30
整備工事	H24.9.1 ~ H25.1.31	H24.8.7 ~ H24.11.26

概ね予定どおり事業を進めることができた。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114 (内線142)

【被災前】



【被災後】



【復旧後】



【避難路及び屋外運動場嵩上げ事業の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号																																							
◆C-7-1-2																																							
事業名																																							
復興ふれあい広場整備事業																																							
事業費																																							
総額 49,600,000円																																							
事業期間																																							
平成24年度～平成25年度																																							
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）																																							
三陸鉄道普代駅前に広場を造成し、海産物等のPR促進・販路拡大事業を行うとともに、震災後懸念されている地域コミュニティ機能の再生・活性化を図ることを目的とする。																																							
事業結果																																							
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 用地買収 718㎡、設計業務委託 平成25年度 建設工事一式 （工事概要） 盛土工 A=1,009㎡、アスファルト舗装工 A=366㎡、インターロッキング舗装 A=433㎡ 																																							
事業の実績に関する評価																																							
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR活動や企業訪問を行うことで、販路拡大や販売の促進に大きな効果が見込まれる。</p> <p>また、地域のイベント等にも活用されており、地域コミュニティの活性化を促進する拠点となるものと認められている。</p> <p>【復興ふれあい広場で開催された主なイベント】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日時</th> <th>イベント名</th> <th>主催団体</th> <th>入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年7月13日</td> <td>ふだいまると元気市</td> <td>同実行委員会</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>平成27年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月27日</td> <td>ふだいまつり前夜祭</td> <td>上組若蓮</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>平成28年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>平成28年9月18日</td> <td>復興祈願祭</td> <td>上組若蓮</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>平成29年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>平成29年8月31日</td> <td>ふだいまつり合同前夜祭</td> <td>下組若蓮・上組若蓮</td> <td>500人</td> </tr> <tr> <td>平成29年9月1日～3日</td> <td>ふだいまつり</td> <td>同実行委員会</td> <td>3,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は、普代駅を利用する観光客や周辺の住民に利用されているほか、イベント会場にも活用されるなど、多くの方に利用されている。また、各イベント等の開催により観光客の誘客も図ることができ、地域経済の活性化にも繋げることができた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 盛土資材に三陸沿岸道路工事の残土を使用し、コスト削減に努めた。</p>				開催日時	イベント名	主催団体	入込客数	平成26年7月13日	ふだいまると元気市	同実行委員会	800人	平成27年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人	平成27年8月27日	ふだいまつり前夜祭	上組若蓮	300人	平成28年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人	平成28年9月18日	復興祈願祭	上組若蓮	400人	平成29年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人	平成29年8月31日	ふだいまつり合同前夜祭	下組若蓮・上組若蓮	500人	平成29年9月1日～3日	ふだいまつり	同実行委員会	3,000人
開催日時	イベント名	主催団体	入込客数																																				
平成26年7月13日	ふだいまると元気市	同実行委員会	800人																																				
平成27年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人																																				
平成27年8月27日	ふだいまつり前夜祭	上組若蓮	300人																																				
平成28年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人																																				
平成28年9月18日	復興祈願祭	上組若蓮	400人																																				
平成29年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300人																																				
平成29年8月31日	ふだいまつり合同前夜祭	下組若蓮・上組若蓮	500人																																				
平成29年9月1日～3日	ふだいまつり	同実行委員会	3,000人																																				

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
用地買収	H24.4.1 ～ H24.5.31	H24.4.1 ～ H25.2.27
設計業務	H24.5.1 ～ H24.6.30	H25.2.4 ～ H25.3.6
整備工事	H24.6.1 ～ H24.8.31	H25.11.21 ～ H26.3.25

用地買収に時間を要したため、設計業務、工事とも予定より大幅に遅れる結果となった。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114 (内線142)

【着工前】



【竣工後】



【イベントの様子】

ふだいまつり合同前夜祭



復興祈願祭

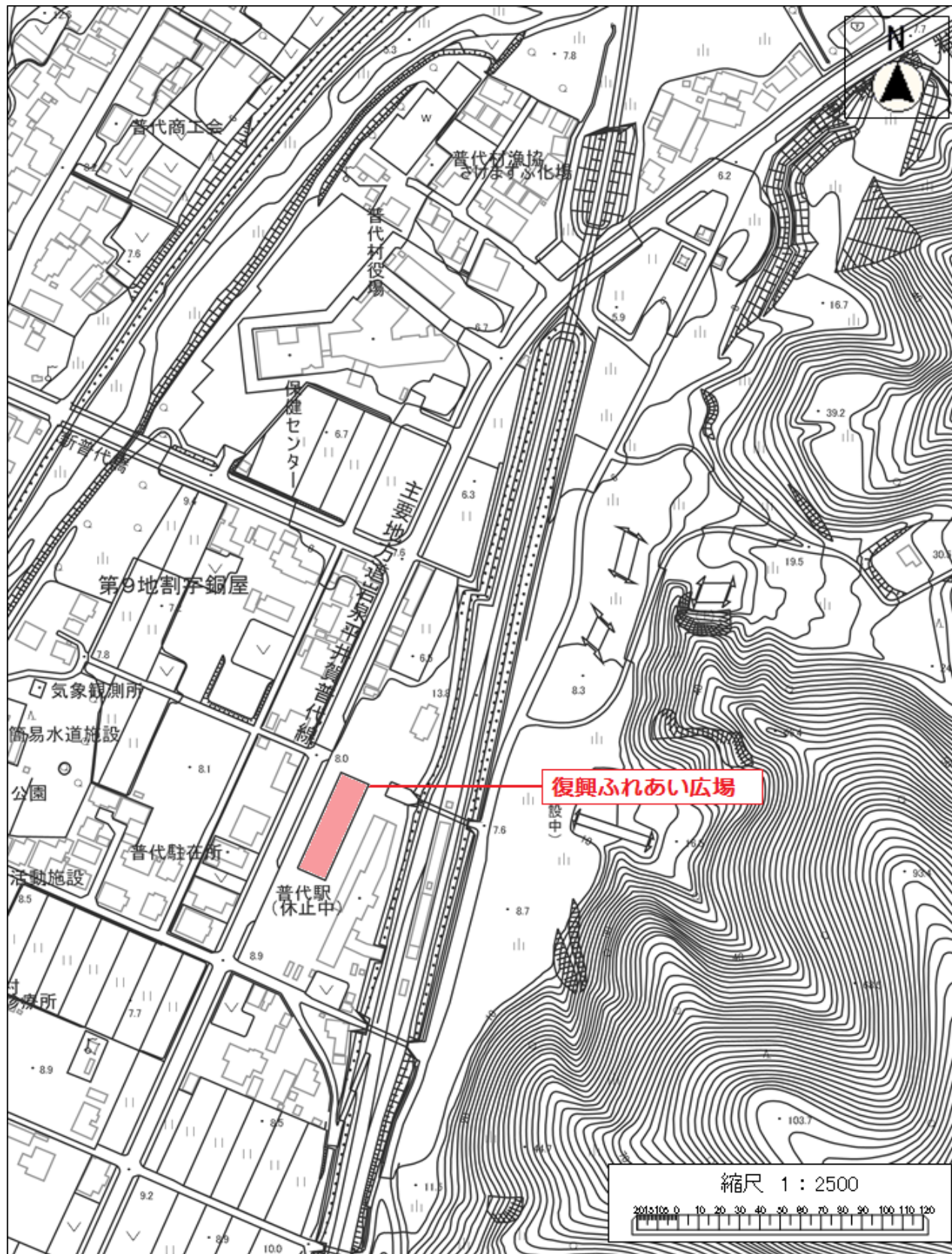


ふだいまると元気市



東日本大震災追悼イベント





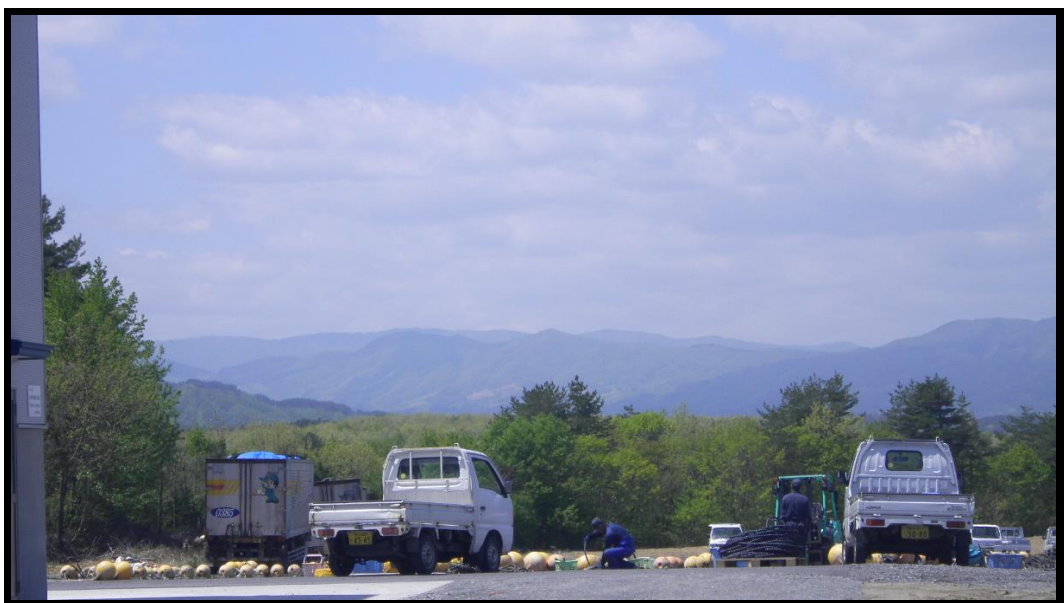
【復興ふれあい広場の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号											
C-7-2											
事業名											
漁具保管修理施設整備事業											
事業費											
総額	35,925,750円										
事業期間											
平成24年度											
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）											
東北地方太平洋沖地震の津波で発生したガレキにより、今まで利用していた網干場が、ガレキ置き場となり利用できない状況となっている。また、代替えとして使用した公共利用施設の空き地等では、周辺住民から臭いについての苦情もあることから、水産業の振興の安定化を図ることを目的とし、集落から離れた村有地に網干場及び漁具修繕施設を整備するものである。											
事業結果											
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 整備工事（和野山、鳥居地区） （工事概要） 和野山地区 アスファルト舗装工 A=3,200㎡ 鳥居地区 アスファルト舗装工 A= 750㎡ 											
事業の実績に関する評価											
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>漁具保管修理施設整備と併せて、漁具保管倉庫等の施設も（事業実施主体：普代村漁業協同組合）整備されており、地域の水産業の振興を促進する拠点になるものと期待されている。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は、多くの漁業者に利用されており、漁具保管修理施設が整備されたことにより漁業活動の安全性及び効率性の向上が図られている。 【漁具保管修理施設利用漁家戸数】 ・和野山地区：43戸 ・鳥居地区：55戸</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 漁業協同組合と村の用地に施設を整備することにより、用地費等の削減に努めた。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計</td> <td>H24.6.1 ~ H24.7.31</td> <td>H24.10.1 ~ H24.11.30</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.7.1 ~ H24.10.31</td> <td>H24.11.13 ~ H25.2.16</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地選定（調査）に時間を要したことから、工事着手に遅れが生じた。用地選定に係った時間を除けば、概ね適切な工期と評価できる。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	調査・設計	H24.6.1 ~ H24.7.31	H24.10.1 ~ H24.11.30	整備工事	H24.7.1 ~ H24.10.31	H24.11.13 ~ H25.2.16
	想定事業期間	実際の事業期間									
調査・設計	H24.6.1 ~ H24.7.31	H24.10.1 ~ H24.11.30									
整備工事	H24.7.1 ~ H24.10.31	H24.11.13 ~ H25.2.16									
事業担当部局											
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）											

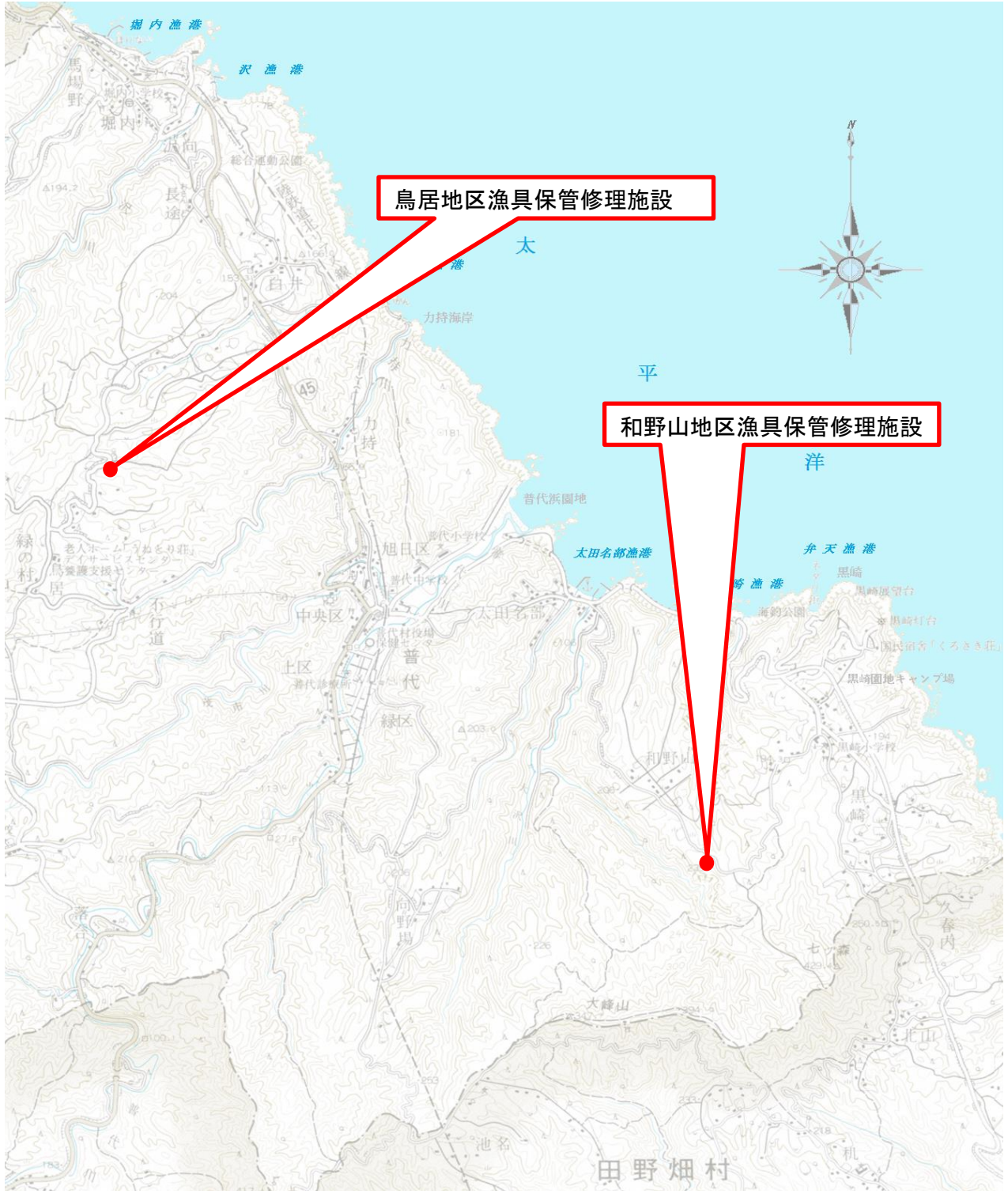
【和野山地区漁具保管修理施設】



【鳥居地区漁具保管修理施設】



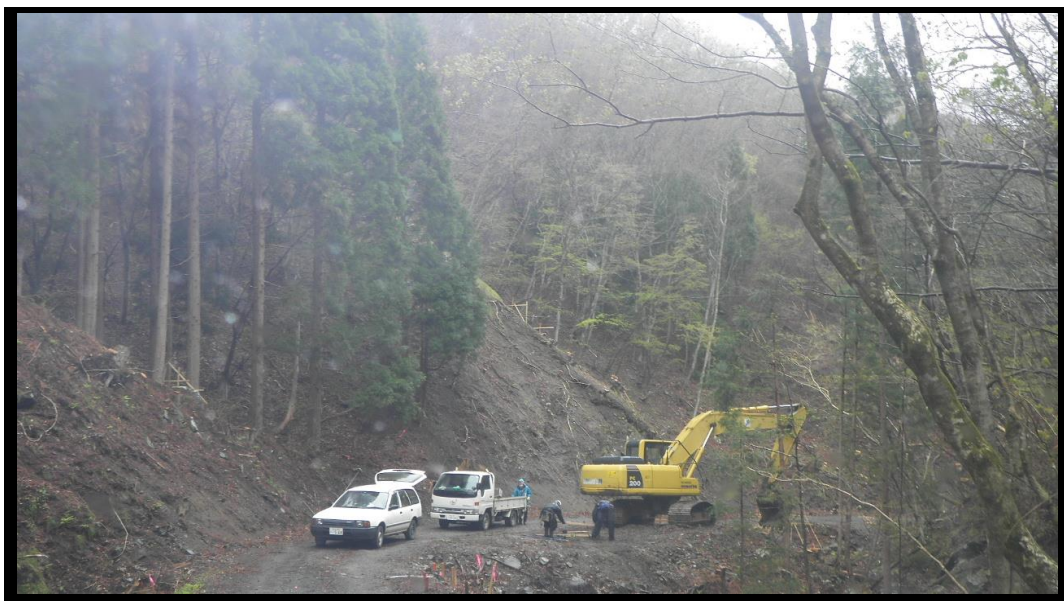
【漁具保管修理施設の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号														
D-1-1														
事業名														
津波に対応した避難道路整備事業														
事業費														
総額 127,901,889円														
事業期間														
平成24年度～平成25年度														
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）														
東北地方太平洋沖地震の津波の際に太田名部地区の住居は防潮水門により守られたが、水門より海側に位置する主要道である県道岩泉平井賀普代線が通行止めとなり、太田名部地区は孤立状態となった。このため、村道上の沢線を改良（拡幅・舗装等）することで、車両及び歩行者の安全な通行を確保し、太田名部地区の孤立解消を図ることを目的とする。														
事業結果														
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 用地買収 9061.44㎡ 測量設計業務委託 建設工事一式（1号工事） L=534.2m（土工、擁壁工、ブロック積み工） ・平成25年度 建設工事一式（2号工事） L=534.2m（法面工、排水構工、舗装工） 														
事業の実績に関する評価														
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>避難道路を整備したことにより迅速かつ正確な情報収集・情報伝達（第1避難所の避難者確認、第2避難所への誘導指示等）が可能となり、太田名部地区住民の安全に寄与することができた。</p> <p>また、太田名部地区が孤立解消されたことにより、第2避難所へ避難者を迅速に避難させることが可能となった。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成26年度から毎年実施されており、地域住民の方が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いていること等により、適正なコストと認められる。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">想定事業期間</th> <th style="width: 35%;">実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地買収</td> <td>H24.4.1 ～ H24.5.31</td> <td>H24.4.1 ～ H25.1.31</td> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>H24.4.1 ～ H24.6.30</td> <td>H24.8.3 ～ H24.11.6</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.8.1 ～ H25.6.30</td> <td>H25.11.15 ～ H26.3.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地買収に時間を要したため、設計業務、工事とも予定より大幅に遅れる結果となった。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	用地買収	H24.4.1 ～ H24.5.31	H24.4.1 ～ H25.1.31	設計業務	H24.4.1 ～ H24.6.30	H24.8.3 ～ H24.11.6	整備工事	H24.8.1 ～ H25.6.30	H25.11.15 ～ H26.3.20
	想定事業期間	実際の事業期間												
用地買収	H24.4.1 ～ H24.5.31	H24.4.1 ～ H25.1.31												
設計業務	H24.4.1 ～ H24.6.30	H24.8.3 ～ H24.11.6												
整備工事	H24.8.1 ～ H25.6.30	H25.11.15 ～ H26.3.20												
事業担当部局														
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）														

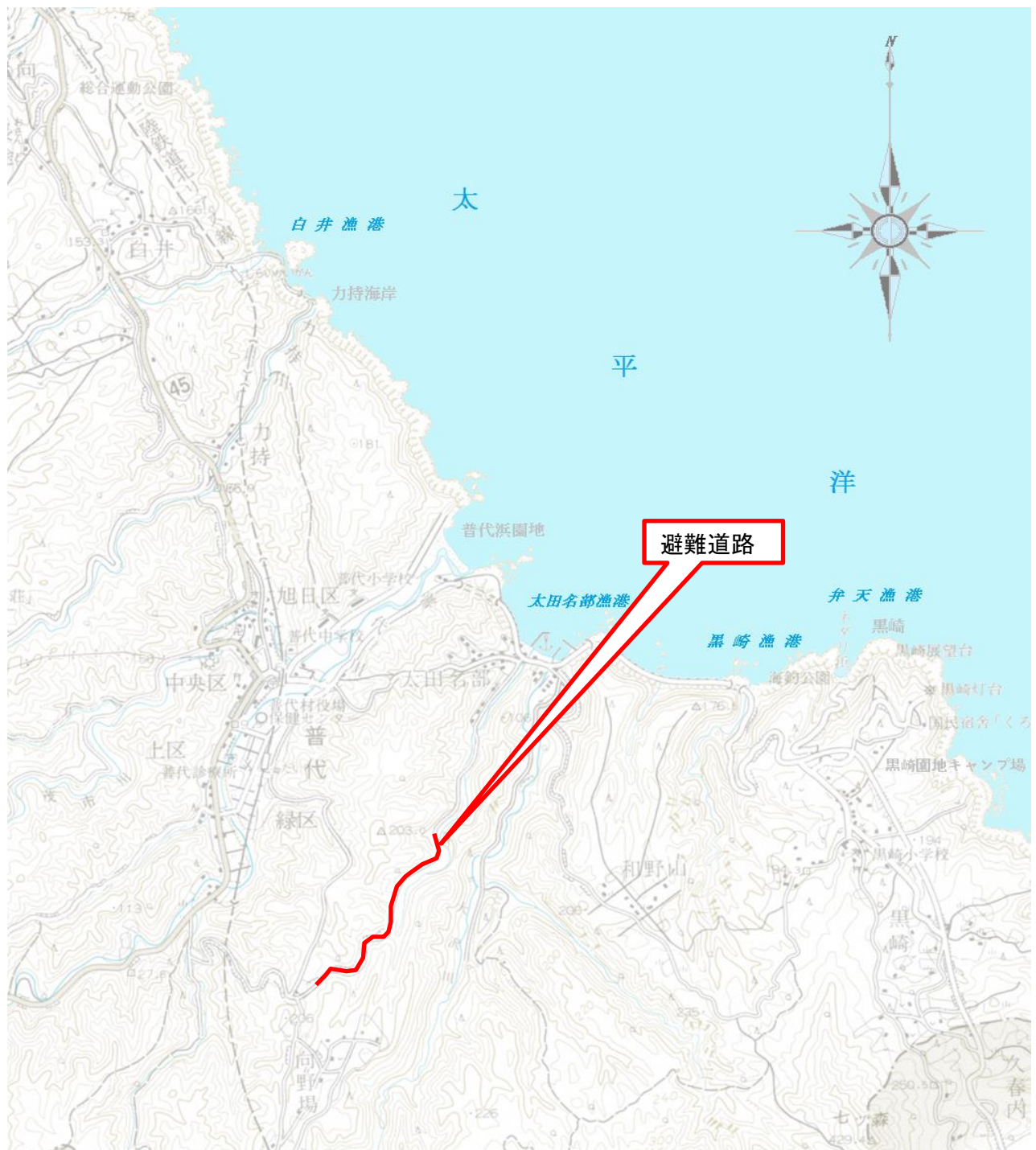
【竣工前】



【竣工後】



【避難道路の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号								
◆F-1-1-1								
事業名								
漁業集落復興効果促進事業（避難誘導機器整備事業）								
事業費								
総額	6,264,000円							
事業期間								
平成26年度								
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）								
東北地方太平洋沖地震の津波により被災した沢漁港、まついそ公園に避難路及び避難誘導機器を整備し、地震・津波に対する機能強化を図ることを目的とする。								
事業結果								
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 整備工事一式 （工事概要） 誘導標識設置 N=2基 手摺設置 L=102m 路盤工 A=125㎡ 								
事業の実績に関する評価								
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>当該事業により、避難対策施設として堀内・沢地区避難階段や津波避難誘導標識等を設置したことで、沿岸地区の住民や観光客の避難安全性の確保が図られた。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成26年度から毎年実施されており、地域住民の方が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備工事</td> <td>H27.2.9 ~ H27.3.28</td> <td>H27.2.10 ~ H27.3.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>概ね予定どおり事業を進めることができた。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	整備工事	H27.2.9 ~ H27.3.28	H27.2.10 ~ H27.3.17
	想定事業期間	実際の事業期間						
整備工事	H27.2.9 ~ H27.3.28	H27.2.10 ~ H27.3.17						
事業担当部局								
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）								

【避難誘導機器】



【漁業集落復興効果促進事業の位置図】



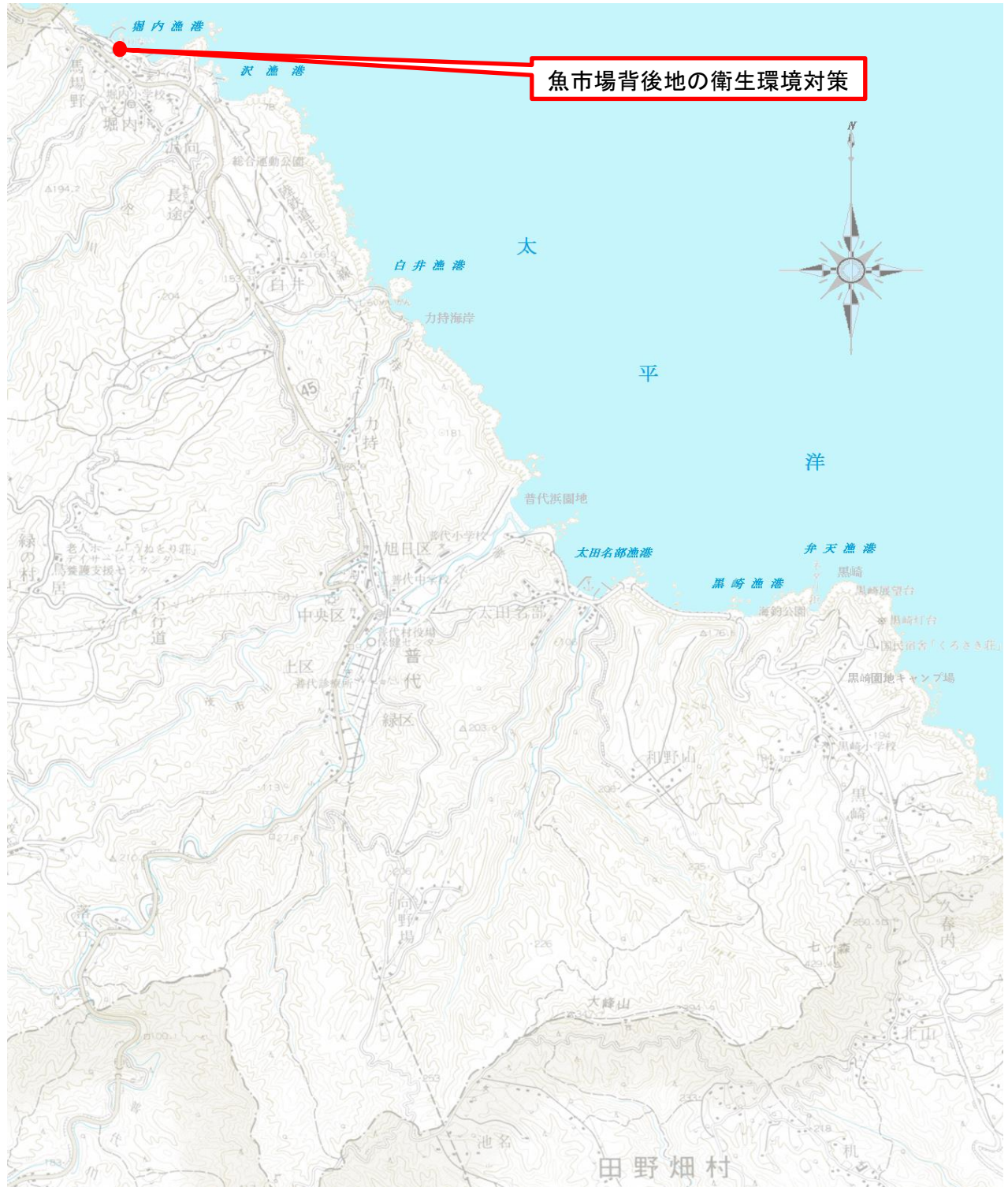
【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号								
◆F-1-1-1								
事業名								
漁業集落復興効果促進事業（魚市場背後地の衛生環境対策事業）								
事業費								
総額	10,500,000円							
事業期間								
平成24年度								
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）								
堀内地区仮設番屋周辺の用地舗装及び加工用水管の整備を行い、堀内荷さばき施設背後地の衛生管理を図ることを目的とする。								
事業結果								
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 建設工事一式 （工事概要） アスファルト舗装工 A=26㎡ フレキャストU型側溝（300） L=154m フレキャストU型側溝（250） L=78m 								
事業の実績に関する評価								
<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>当該事業により、堀内荷さばき施設背後地の衛生管理が維持されるとともに、漁業者の漁業活動の安全性及び水産業振興の安定化が図られている。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は多くの漁業者が通年に亘って日中から夜間まで利用しており、本事業で整備されたことで、砂利粉塵の抑制や水道整備により、水産物や漁具の水洗が容易になったことで漁業関係者の衛生面や快適性の維持が図られた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>想定事業期間</td> <td>実際の事業期間</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.11.20～H25.2.28</td> <td>H25.2.8～H25.3.20</td> </tr> </table> <p>概ね予定どおり事業を進めることができた。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	整備工事	H24.11.20～H25.2.28	H25.2.8～H25.3.20
	想定事業期間	実際の事業期間						
整備工事	H24.11.20～H25.2.28	H25.2.8～H25.3.20						
事業担当部局								
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）								

【魚市場背後地の衛生環境対策】



【漁業集落復興効果促進事業の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆C-7-1-3
事業名	海産物直売施設整備事業
事業費	総額 39,572,000 円
事業期間	平成28年度
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）	東北地方太平洋沖地震の津波により全壊した太田名部レストハウス（売店）を移転整備し、水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR促進・販路拡大事業を行うとともに、震災により激減した観光客の増加と地域経済の復興及び活性化を図る。
事業結果	<p>・平成28年度 設計業務委託 工事監理業務委託 建築工事一式 （工事概要） 海産物直売施設：木造 平屋建、延床面積118.83㎡、</p>
事業の実績に関する評価	<p>○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。</p> <p>水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR活動や販売を行うことで、販路拡大や販売促進に大きな効果が見込まれる。</p> <p>○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本年度からの店舗の営業を開始。太田名部自治会に管理運営を委託して、C-7-1事業で整備した業者の水産加工品などを販売している。施設周辺には普代元村地区を津波から守った普代水門、観光地である普代浜園地があることから観光客の集客が大いに期待されているが、周辺の公園整備がまだ完了していない発展途上にある。今後の整備次第で大きく発展する可能性もあると考えられる。</p> <p>【同地で開催されたイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチバレーボール大会（平成29年8月6日開催） ・トレイルウォーク（平成29年7月16日開催） ・ビーチヨガ（平成29年7月30日開催） ・BBQ×ビアガーデン（平成29年7月30日開催） ・イーハトーブトライアル大会（平成29年8月26日開催） <p>② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。</p>

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
設計業務	H28.4.1 ~ H28.4.30	H28.4.11 ~ H28.5.17
工事監理業務	H28.8.1 ~ H28.12.31	H28.8.24 ~ H29.3.28
建築工事	H28.8.1 ~ H28.12.31	H28.9.6 ~ H29.3.20

設計業務については概ね予定どおり事業を進めることができたが、建築工事については、平成28年度、台風10号の被害等の影響により工期が大幅に遅れた。村としては、工事完了時期を契約時に確認していたが、当該施設の工事契約業者が、近隣の市町村の住宅等施設の撤去や再建などの作業の要請を受けて災害復旧を優先的に行ったことから、工事着手が延期された。かかる事態は村外とはいえ近隣地域で発生した想定外の自然災害によるものであり、この対応はやむを得ないものと村では考えている。（工期延長に伴う事業費への影響は、生じていないものである。）

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）

【海産物直売施設】



【海産物直売施設の位置図】

